

焼却施設の維持管理に関する記録

令和7年度

1 処分した廃棄物の各月毎の種類、数量

種類		家庭系一般廃棄物及び事業家一般廃棄物のうち可燃ごみ(破碎可燃残渣等を含む)												
区分	月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	年度計
焼却量	1号炉	t	1,266.30	587.93										1,854.23
	2号炉	t	1,279.30	1,476.48										2,755.78
	合計	t	2,545.60	2,064.41	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	4,610.01

2 燃烧室中の燃烧ガス温度、集じん器に流入する燃烧ガス温度、排ガス中の一酸化炭素濃度(すべての日平均の月平均値)

	月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	平均値
燃烧室中の燃烧ガス温度	1号炉	°C	985	988										986.5
	2号炉	°C	984	979										981.5
集じん器に流入する燃烧ガス温度	1号炉	°C	160	163										161.5
	2号炉	°C	161	164										162.5
排ガス中の一酸化炭素濃度	1号炉	ppm	1.8	0.9										1.4
	2号炉	ppm	0.1	0.1										0.1
備考		連続測定												

※1 フロー図上の1にて測定

※2 フロー図上の2にて測定

※3 フロー図上の3にて測定

3 排ガス処理施設に堆積したばいじんの除去を行った日

排ガス処理設備		年月日	年月日
ろ過 集じん器	1号炉		
	2号炉		

4 ばい煙又はばい煙濃度測定結果

区分	規制値		単位	1号炉		2号炉	
	法規制値	自主管理値		1回目	2回目	1回目	2回目
排ガスを採取した年月日	-	-	-				
結果の得られた年月日	-	-	-				
硫黄酸化物濃度 K値=17.5	73	50	ppm				
ばいじん濃度	0.04	0.02	g/m <sup>3</sup> N				
塩化水素濃度	430	50	ppm				
窒素酸化物濃度	250	80	ppm				

※4 フロー図上の4にて測定

5 排出される排ガス中のダイオキシン類濃度測定結果

区分	規制値	単位	1号炉	2号炉
			1回目	1回目
結果の得られた年月日	-	-		
排ガス中のダイオキシン類濃度	0.1	ng-TEQ/m <sup>3</sup> N		

# クリーンセンター 処理フロー

Clean center processing flow



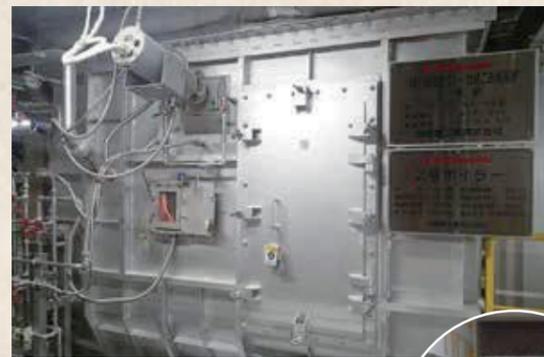
## 1 プラットホーム Platform

ごみ収集車で集められたごみは、プラットフォームに搬入されます。プラットフォームには投入扉が3門あります。自家用車などで運ばれたごみはダンピングボックス(1基)を使用してごみピットに投入します。布団やカーペットなどの大型ごみは、可燃性粗大ごみ破砕機で砕いた後、ごみピットへ投入します。



## 2 ごみピット Refuse pit

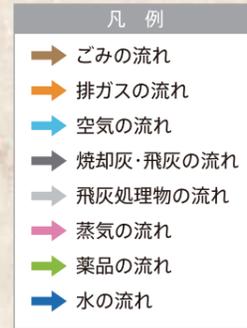
ごみピットに貯められたごみは攪拌した後、ごみクレーンにてごみ投入ホッパへ投入します。ごみピットは580トン(約1週間分)のごみを貯めることができます。[ごみピット容量…3,600m<sup>3</sup>]



## 3 焼却炉 Incinerator

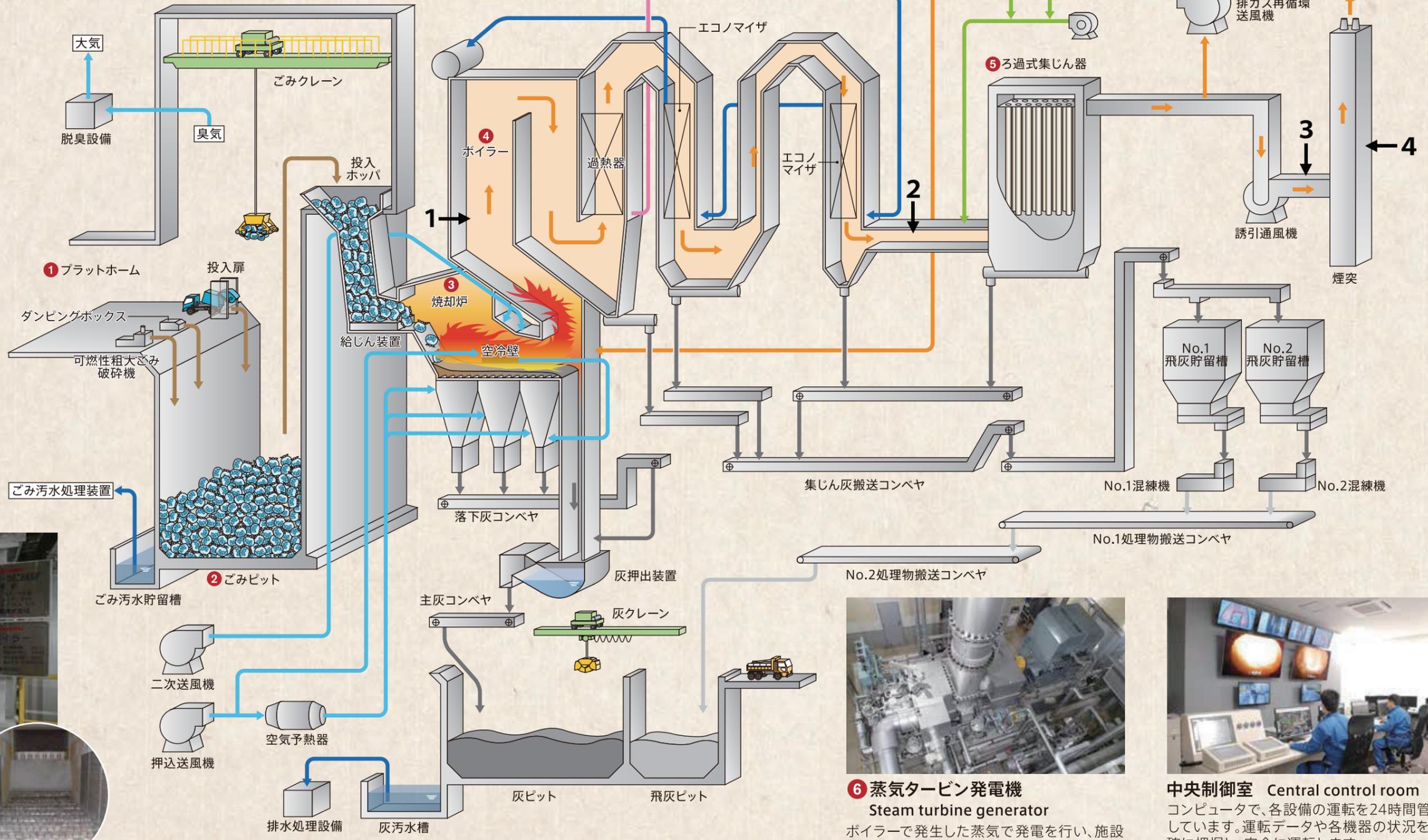
様々なごみ質に対応して、ごみ送り速度と燃焼用空気の吹き込み量を調節し、850℃以上の高温で焼却を行うことで、ダイオキシン類の発生を抑制します。

焼却炉の内部



## 4 ボイラー Boiler

焼却炉から送られてきた排ガスの熱を回収して蒸気をつくります。



## 5 ろ過式集じん器 Bag filter

排ガスの中に含まれる有害な物質を取り除き、クリーンな状態にします。



## 6 蒸気タービン発電機 Steam turbine generator

ボイラーで発生した蒸気で発電を行い、施設内の電力を賄うとともに、余剰電力は売電します。蒸気タービン発電機の発電出力は最大1,990kWです。



## 中央制御室 Central control room

コンピュータで、各設備の運転を24時間管理しています。運転データや各機器の状況を適確に把握し、安全に運転します。